



新田舎人 2025.1/122号 | CONTENTS

06 日本ぐるりと疎水さんぽ
岡山県 300年もの間、農業用水を供給してきた「吉井川地区」の土木遺産に触れる 吉井川下流土地改良区

08 新田舎人INTERVIEW —— 緒方湊 さん(最年少野菜ソムリエプロ)の目標は日本の食文化への貢献 若い世代に野菜の魅力を伝えたい!

12 大阪府堺市 植物や命、食の本質に触れながら自分なりの「農業」を追求 大阪府立農芸高等学校

14 土地改良区以外の分野の人材も参加する新たな視点で情報交換を行う懇話会を発足! 愛知県・豊川総合用水土地改良区

16 農業水利施設の保全管理の在り方シンポジウム ~水路は食卓を救う~

18 2024年度農業農村工学会大会講演会連携シンポジウム 男女共同参画に配慮すると人材育成の視点も変わる ~光る農業農村工学会~

20 農で働く喜び 茨城県茨城県産産物 うれしさをほらご賞を結ぶ! 若い世代の学び 嶋山 洋一さん

22 今までの能力再発見 静岡県浜松市浜北区引込野 積極的貢献を伝える商品を開発! 特産物を活かして地域を活性化 特産物活用推進法人ひらひらしい農園

24 今味わうべき、ふるさとの痛み

26 ボイス

27 スピンオフ

全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)が企画・編集し、年4回発行の「新・田舎人」の最新号を送付させていただきます。

全国的水土里ネット会員の取組や活動の紹介、全国の排水施設周辺スポットのご案内、これからの農業を担う若い世代の取組、農業のいまを伝える声など、普通では見えない農業・農村の姿を掲載しています。

ご一読いただけますと幸いです。

今号のPICK UP
「シンポジウムレポート」

昨年9月に開催されたシンポジウムをレポート。全国から多くの土地改良関係者が参加した「農業水利施設の保全管理の在り方シンポジウム」は、ゲストのギャル曾根氏を交えたトークイベント中心に、「農業農村工学会大会講演会連携シンポジウム」は、日々の業務や研究の人材育成にどう取り組むべきか議論を交わした内容を、それぞれ紹介するページです。

新・田舎人 INTERVIEW

毎号、著名人や専門家の方に農業についての想いを語っていただいています。今号は、最年少野菜ソムリエプロの緒方湊さんへインタビュー。

8歳で野菜ソムリエ、10歳でソムリエプロの資格を取得し現在16歳の緒方さん。野菜好き少年になったきっかけ、日本各地での農家さんとの交流活動から感じた「水の大切さ」など大いに語っていただきました。



男女共同参画の今

2025年度までに土地改良区(土地改良区連合会)の理事に占める女性の割合を10%以上、女性の理事が登用されていない組織数をゼロとする成果目標への取組を紹介するページ。

豊川総合用水土地改良区(愛知県)が行っている「豊総男女共同参画推進懇話会」を紹介しています。



男女共同参画活動への取組の詳細は、こちらよりご覧いただけます。

日本ぐるりと疎水さんぽ

全国にある農業水利施設と周辺スポットをN女N男(農業・農村女子、男子)のために紹介する「日本ぐるりと疎水さんぽ」。

今号は、岡山県東部の吉井川地区の「新田原井堰・小水力発電所」・「鴨越堰」などを紹介しています。

農業の未来を担う 水土里のタネ

「大阪府立農芸高等学校」をご紹介します。大阪府堺市に位置する同校は、植物系、動物系、食品系の3学科を有する創立100年以上の農業高校。

約9万㎡の広大な敷地にある施設・設備で専門的な学習だけでなく、学生の課題研究活動などを紹介しています。



バックナンバー・定期購読のご案内

「新・田舎人」のバックナンバー・定期購読は、以下の方法でお申込みいただけます。

①メールの場合は midorinet@inakajin.or.jp へご連絡

②当会ホームページの申し込みフォームの場合は <https://www.inakajin.or.jp/works/pr/quarterly/form>

またはQRコードよりお申し込みフォームにアクセスし、お申込みいただけます。



お知らせ

(株)高速オフセット様のHPのインタビュー記事にて、「『新・田舎人』にかける想い」をご覧ください。QRコードよりご覧ください!

発行:全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4階
TEL 03-3234-5480